

令和 8 年度 子ども図書館 取組方針

すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

●本との出会いを楽しみにする子ども

●本から学び、知ることの喜びを感じる子ども

●読書の楽しさ、大切さを知り、発信でき、生涯にわたって読書に親しもうとする子ども

静かな本の閲覧・貸出施設からの転換

- 知的好奇心を刺激し、感性を育む「ワクワクする居場所」へ
～エンタメ図書館大作戦～

発達段階ごとに特化した体験型事業の実施

- 発達段階×地域連携で「学ぶ・やすらぐ・楽しむ」を最大化。「エンタメ要素」を最大限に盛り込んだ体験型イベントを乳幼児から高校生まであらゆる世代に展開させ、子ども図書館を「子ども・多世代エンターテインメント拠点」とする。

学校・地域等と連携した読書活動の推進

- 学校図書館を中核とした学校における読書活動や地域等と連携協力し、市全体で子どもの読書活動を推進していく。